

# 都市再生整備計画 事後評価シート

久慈浜地区

平成27年3月

茨城県日立市



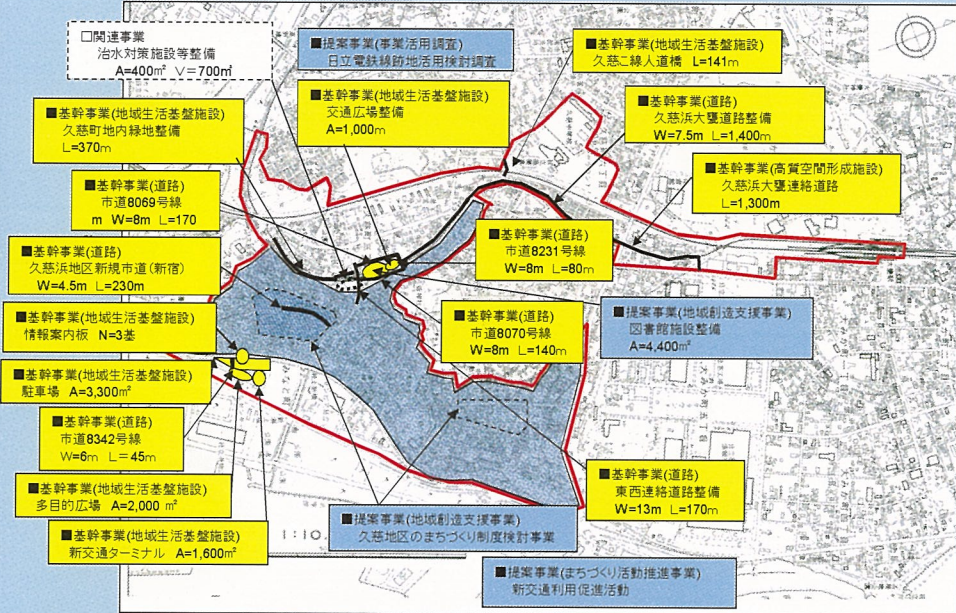




様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	日立市		地区名	久慈浜地区			面積	113ha							
交付期間	平成20年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	1,889百万円	国費率	0.346									
1) 事業の実施状況	事業名																	
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路：東西連絡道路、久慈浜大妻連絡道路 地域生活基盤施設：多目的広場、自転車駐車場															
		提案事業	地域創造支援事業：久慈地区のまちづくり制度検討事業 事業活用調査：日立電鉄線跡地活用検討調査															
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設：自転車駐車場、多目的広場			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響									
		提案事業	-			-			影響なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	道路：市道8069号線、市道8070号線、市道8231号線、市道8342号線、久慈浜地区新規市道(新宿地区)、地域生活基盤施設：交通広場、新交通ターミナル、多目的広場、駐車場、久慈町地内緑地、情報案内版、久慈こ線人道橋 高質空間形成施設：久慈浜大妻連絡道路			分断された区域周辺の回遊性とともにも利便性の向上を図るため、BRT専用道整備に伴い、交通拠点の整備により安全安心に暮らせる交通環境を整えるため。			影響なし									
提案事業		地域創造支援事業：図書館施設 事業活用調査：新交通利用促進検討調査 まちづくり活動推進事業：新交通利用促進活動			持続的なまちづくりのために、新交通利用促進事業を加えるとともに久慈浜駅舎西側跡地活用として南部地区の拠点施設となる図書館整備を加えた。			影響なし										
交付期間の変更	当初	H20年度～H24年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			影響なし											
	変更	H20年度～H26年度																
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	0		従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期						
	指標1	既成市街地の建て替え困難宅地	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み									
										22宅地	19	2宅地	26	-	1宅地	○	あり	道路整備により14宅地が接道した。併せて、久慈浜地区の狭路道路に対応した連担建築物設計制度の認定基準を満足し、その制度適用により建て替え困難宅地の解消が可能となった。
	指標2	消防署から久慈浜駅舎跡地西側までの緊急車両移動時間	分	3分	19	2分	26	-	2分	○	あり	久慈浜駅舎により分断されていた地区の東西に道路整備したことにより、緊急車両の移動時間は短縮され、さらに東西連絡道路とつながる周辺の道路も整備されたことで、回遊性が高まるとともに利便性が向上した。	-					
指標3	久慈浜駅舎跡地からJR大妻駅までの車両移動時間	分	14分	19	5分	26	-	8分	△	あり	目標値には達しなかったが、久慈浜大妻連絡道路の整備により従前値を上回る評価が得られた。また、公共交通機関(BRT)の定時性と速達性が確保されたことで、交通利便性の向上が図られ、乗降客数の増加につながった。	-						
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期						
	その他の数値指標1	久慈浜地区から大妻駅までのバス乗降客数	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み									
										126	H19	-	481	-	-	-	日立電鉄線跡地を活用したバス専用道を整備し、BRT運行に伴った定時性と速達性を確保したことにより、交通利便性の向上が図られ、バス乗降客数が大幅に増加した。	-
										-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
その他の数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
4) 定性的な効果発現状況	・南部図書館開館やJR大妻駅と道の駅「日立おさかなセンター」とを結ぶBRT開通に伴い、市内はもろちん市外からの人々も多く訪れるようになり、商店街を含めた久慈浜地区全体ににぎわいをもたらしている。 ・東日本大震災により、久慈浜地区は甚大な被害を受けたが、それをきっかけに「安全・安心のまちづくり」への意識が高まり、計画に位置付けられた事業の重要性を感じたことで事業の推進が図られた。																	
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等							
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					-							
	住民参加プロセス	・BRT沿線住民、企業等で構成するひたちBRTサポーターズクラブにおける車両デザイン、停留所の名称・位置、運行ダイヤ等の検討 ・建て替え困難地区の課題解決方策を検討するワークショップ、地区懇談会の開催				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 地域住民が母体となっているまちづくり団体の後方支援を行う。							
持続的なまちづくり体制の構築	・ひたちBRTサポーターズクラブにおける利用促進活動 ・新規道路周辺のまちづくり維持管理活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 市民・企業・各種団体等の参画と共同によるまちづくりを目指す。								



## 様式2-2 地区の概要

久慈浜地区(茨城県日立市) 都市再生整備計画の成果概要					
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<b>大目標</b> 安全・快適なまちづくりの推進 <b>目標1</b> 安心して住み続けることができるまちづくりの推進 <b>目標2</b> 連絡道路の整備等による地域内移動の円滑化 <b>目標3</b> 日立電鉄線跡地を活用した新たな交通環境の整備	既存市街地の建て替え困難宅地 単位: 宅地	22 H19	2 H26	1	H26
	消防署から久慈浜駅舎跡地西側までの緊急車両移動時間 単位: 分	3 H19	2 H26	2	H26
	久慈浜駅舎跡地からJR大甕駅までの車両移動時間 単位: 分	14 H19	5 H26	8	H26
	—	単位: —	— H	—	H
	—	単位: —	— H	—	H
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;">   </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 25%;">   </div> </div>					
<b>まちの課題の変化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>久慈浜地区新規道路の整備等により、大部分の建て替えが可能となり明るい雰囲気空間となった。</li> <li>その空間を守るために、自発的に住人によるまちづくり団体が発足し、さまざまな地域活性化方策を実施することで地域のつながりが深まるとともににぎわいをもたらした。</li> <li>久慈浜駅舎跡地に南部図書館を拠点とした周辺道路を整備したことで地域住民の利便性が向上した。</li> <li>道の駅「日立おさかなセンター」付近に、交通ターミナルや誘導案内看板・サイン等を整備したことで、回遊性が向上した。</li> <li>大甕駅等の交通結節点におけるBRTとJR、路線バスへの乗換をしやすい環境づくり(運行ダイヤの検討、案内表示の設置)が今後の課題となる。</li> </ul>				
<b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>閉鎖的な空間が新規道路整備により明るく開けた空間となったことで、地域住民で構成するまちづくり組織を主体として、新規道路の残地を利用して整備したポケットパークにて飲食の提供やイベント等の開催により、交流を活性化させる。同時に、未だ接道不良宅地が残っているため、地域住民主体の組織等を構成し、解消する方策を検討していく。</li> <li>特徴的なデザインの南部図書館を地区の拠点とした周辺道路整備により回遊性が高まったことで、地区の美しい景観を作り上げ保持していくように、地域へ理解・協力を働きかける。</li> <li>BRT運行後、これまでの利用者の年齢層や時間帯など乗客の実態状況を整理し、今後、安定した利用者確保の検討及び適切な運行体系を確立する。</li> <li>地域主体のまちづくり団体には、市から助言等の積極的な後方支援を行っていく。</li> </ul>				